＜第４４１８回＞
目的地：白髪岳・松尾山（丹波）
担当者：西出Ｈ
実施日：2023 年 10 月 14 日(土)
形　式：日帰りハイキング
費　用：¥2,340.-
参加者：5 名

天　気：曇り
行　程：
(9：00)JR 古市駅→(10：20）登山口→（11：30）白髪岳[昼食]（12：10)→(12：40）松尾山登り口→（13：00）松尾山→（13：50）高仙寺本堂跡→（14：40）登山口→（15：35）JR 古市駅[解散]

感　想：
　駅で、電車を降りた後、その日の参加者では、自己紹介の必要もなかったので、昼食の予定場所と今日の雨の降る予定時刻と行程を確認して、歩き出しました。
登山口まで、あまり高低差もなかったのでのんびりと歩けました。でも登りにかかると、結構な勾配があり、涼しさを感じる季節ですが、少し汗ばむような状況でした。でも、登りが延々と続くと言うほどでもなく、頃良い加減でベンチのある休憩場所に着きました。展望の利く場所で、そこから、周りの木々が、低木に変わりました。少し行くと、緊張を必要とするような岩場でした。続くと嫌だなと思っていると、間もなく、白髪岳山頂で、思っていたより直ぐでした。３６０度の展望が利きました。山頂以外の適当な昼食場所なかったので、他の登山者は居なくてほっとしました。昼食のあと松尾山に向かいます。山頂からは、急傾斜の下りで、時おり、登山道脇の木を頼りに下りました。下った後、間にある水山は、巻く予定のところ、道を間違えてしまいました。水山あと、松尾山頂ですが、登りにかかってから程なく到着で、見晴らしも利かずそれなりでした。そこからは、下る一方で、不思議な卵塔と不動の滝を経て、朝来た登山口を通り駅へと戻りました
　道中、登山者はあまり居ませんでしたが、山頂では、不思議と人がいて三脚を出さずに集合写真をとってもらう事ができて有難かったですが、夕方から雨が降りだす予報の中の例会だったので、追いたてられているような気持ちで落ち着きませんでした。